

第4回策定委員会でのご意見について

No	指摘	対応方針(案)	該当ページ
都市計画マスタープラン			
1	「計画の実現に向けて」において、市民協働でまちづくりを進めていこうという方針を定めているなかで、現行計画の達成度検証では、「まちづくりに対する啓発」や「まちづくりへの市民協働」という指標の重要度が低くなっており、矛盾が生じている。市民の意識調査の結果とまちづくりを進めたい方向性は別として検討すべき項目もあると思うので、達成度検証の指標の検討の際は、このような矛盾が生じないように検討をしていただきたい。	市の方針・施策は、達成度検証の場面で、実績と効果の有無という観点から検討することとし、市民の考える重要度は、その後の方針・施策の見直しに際し参考とするなど、ご指摘のような矛盾が生じないように整理します。	
2	代田地域のまちづくりの方針において、「西古瀬川の護岸などの計画的な改修を関係機関へ働きかけます。」とあるが、昨今の豪雨災害が増えている状況を見ると、豪雨の時に、西古瀬川は姫街道の手前で曲がっているのに、姫街道に氾濫しないかと心配している。このような方針の表現で、安全、安心だと思っていて大丈夫なのか。	(市)西古瀬川の河川改修は県の事業につき、市としては、積極的に働きかけを行っていきます。 (県)西古瀬川の河川改修については、危険なところから早急に対応している。順次、実施しているが、昨今のゲリラ豪雨は想定を超えるものもあるので、避難の周知などの対応策も含めて防災を高めていきたいと考えている。	
3	達成度検証について、「コンパクトなまちづくり・居住誘導」の評価指標として、市街化区域内の住宅用地増加を指標として相応しいのが疑問に思う。浅野委員長から指摘があったとおり、矛盾を生じるような指標については、見直してもらいたい。中心市街地や地域拠点等、コンパクトなまちづくりの現場となる都市機能誘導地域における増減を見た指標にすべき。	ご指摘のように都市機能誘導区域における増減を念頭においた指標を設定します。	
4	一宮地域のまちづくりの方針において、「本市を代表する河川である豊川については、良好な環境保全を図ります。」とあるが、その中で「いこいの広場」では指定管理により維持管理を行っている。しかし、草刈りが不十分である等、いつまでも管理状況が改善されていない。そのような状況下で、良好な環境保全とはどのようなことを示すのか、今後よく見ていきたいと思う。	いこいの広場については、豊川の親水空間を構成するひとつと考えており、その多くは散歩やレクリエーションの場として利用されていますので、その利用状況に応じた維持管理に努めていきます。	
5	全体構想の都市づくりの視点③で追記された「感染症対策を目的とした避難スペース」とは、どのようなものか。車中泊等を想定したスペースの確保であれば、予防のためであるので、適切な表現に修正をしていただきたい。	「感染症拡大の予防に配慮した避難スペース」という表現に改めます。	
6	市民目線の重要度と政策的な重要度には、どうしても乖離が生じる面はあると思う。重要度は、市民目線と政策的な目線の2つの視点において、指標として整理をするべきと思う。また、住民説明会では、住民の方は、地域のまちづくりの方針を注目して見ると思う。その際に、色々と意見があると思うが、できないことは、できないとはっきりと伝えたほうが良いと思う。行政だけではできない取組の対応策として、「計画の実現に向けて」のなかで示している市民参加の必要性や取組方針を掲げていることを伝え、市民協働で進めていくという姿勢を、説明のなかで貫いてほしい。	市の方針・施策は、達成度検証の場面で、実績と効果の有無という観点から検討することとし、市民の考える重要度は、その後の市の方針・施策の見直しに際し参考とするなど、市民目線と政策的な目線を区別し検討することとします。	
7	分野別の方針のなかで、バイパス沿道の整備や新たな産業エリアの位置づけが示されているが、達成度検証のなかでは、その重要度は低いように思う。優先度が低いように思うが、具体的に整備するエリアが決まっているなど進捗はどうか。	市の方針としては、産業用地の確保は重要と位置づけており、新たな産業エリアの中で、適切な規模の産業用地を確保していきたいと考えています。	
8	合併した旧町における地域拠点については、これまでに支所を整備してコミュニティ拠点となっているところもあるので、鉄道駅を拠点の中心とせず、支所を中心に据えるほうが良い所もあると思う。今後検討する必要があるのではないかな。	総合計画の基本構想「土地利用構想」では、「主要な鉄道駅周辺の市街地を拠点とし」とあり、鉄道駅を重要視する考え方を示しています。鉄道駅が多いという豊川市の特徴を活かすため、現時点では地域拠点の中心を鉄道駅に置くとの考え方を維持したいと考えます。ただ、ご指摘のとおり各地域の公共施設再編を進めるなかで、その施設の立地や機能を踏まえ地域拠点の中心の考え方を変更することは、引き続き検討してまいります。	

住民説明会のスケジュールについて		
1	都市マスと立適は別々の計画でありつつも、関係性があるということが、住民説明会の資料からは読み取れない。住民の方からすれば、よく分からないのではないかと思うので、説明の仕方を工夫してほしい。	資料において両計画の位置づけに触れつつ、当日の説明では同一の組織により検討してきた経緯などを説明しました。
2	住民説明会が目的化してしまっている感がある。丁寧に説明し意見をいただく本来の目的が果たせるように工夫してほしい。また、動画が配信されるということなので、意見がたくさん集まることを期待している。パブコメはいつも意見が少ないので工夫してほしい。	パブコメへの関心をもっていただき、両計画の理解の助けになるよう説明会後も動画配信を続けることとします。
3	中学校区単位でこれまではやっていたので町内会の役の方から動員要請があったが、今回も行うのか。	周知は、広報、ホームページで行う。特別に町内会にお願いするとは考えていません。
4	遠くの方は行きづらい。市民協働のこともあり、多くの市民にお伝えできるようにしたい。	今回は感染症対策も行っていく必要がある。ホームページでは、中学校区ごとに動画を見られる工夫は行う。ユーチューブで閲覧した人の数もカウントできるようにする。
5	意見の締め切りはいつまでですか。	12月4日まで、最後の説明会開催後の1週間後までとしています。
6	動画への意見の受付方法は。	電子メール、郵送、あいち電子申請システムで提出することができます。
7	スマホでも意見が言えたり、書かなくてもボイスで出せるとか。方法はいろいろある。	今回は、電子メール、郵送、あいち電子申請システムで提出することとしました。
8	動画配信を実施することを、どれだけ広く周知することができるのかが重要だと思う。HPや広報での案内だけだと、気づかない人も多いと思うので、動画を見てもらう案内方法についてもよく検討したほうがいいと思う。	広報、ホームページなどで周知し、11月16日の本市の定例記者会見の場で動画配信について情報提供を行いました。また、SNS（ツイッター）を利用した周知も行いました。
9	動画作成については、是非とも、話題になるような動画をつくり込んでほしい。また、最近の国の動きで、デジタル化が話題になっているので、後のパブリックコメントの手法と兼用する等を検討できると良いと思う。	パブコメへの関心をもっていただき、両計画の理解の助けになるよう説明会後も動画配信を続けることとします。